

松浦史料博物館開館70周年記念・九州国立博物館開館20周年記念

特別展「平戸モノ語り—松浦静山と熙の情熱—」

記者内覧会のご案内

memo

- 「生まれながらのお殿様」
- …ではなかった
- ✓ おばあちゃんっ子
- ✓ 妖怪・河童が好き、都会が好き、モノを集めるのも好き
- ✓ 茶の湯は苦手、肖像を描かれるのも嫌い
- ✓ 好奇心旺盛、ガツガツしている?
- ✓ 初対面の人にもお願い事ができる「鋼のメンタル」
- ✓ 記録魔


 松浦静山
(1760-1841)

 松浦熙
(1791-1867)

memo

- ✓ 父から出世を期待され、英才教育を受ける
- ✓ 真面目で優等生タイプ、だからこそ悩みも多い
- ✓ 運動不足解消のために蹴鞠を始める
- ✓ 地元が好き、能が好き、自分のことも大好き
- ✓ 母の貯金で甲冑を作る
- ✓ 父と同じく記録魔

当館では、松浦史料博物館開館70周年記念・九州国立博物館開館20周年記念特別展「平戸モノ語り—松浦静山と熙の情熱—」を、令和8年1月20日(火)～令和8年3月15日(日)まで開催します。

江戸時代、平戸藩主であった松浦家。9代藩主の松浦 清(号は静山)と10代藩主の熙の親子がいました。二人とも「キャラが濃い」けれど、性格は正反対! 本展はこの親子にスポットを当てて、二人が集め、守り伝えた「モノ」から、静山と熙が注いだ情熱とその背景に迫ります。「鑑賞するだけ」ではない、「モノ」の裏側にある人の想いを感じていただく本展は、当館の開館20周年の取組の締めくくりにふさわしい特別展です!

また、当館の特別展では初めての取組として、高校生以下の観覧料を無料としています。

さらに本展の物販では、特定非営利活動法人セルフセンター福岡と連携し、障がいのある方々が本展をモチーフに制作した「まごころ製品」を販売します。詳細は別紙1をご覧ください。

本展覧会の記者内覧会を下記のとおり開催しますので、ご出席賜りますようお願いします。

ご出席に際しては、別紙2「取材連絡票」に必要事項をご記入のうえ、1月16日(金)までに九州国立博物館広報課宛にメール(kouhou@kyuhaku.jp)またはFAX(092-929-3276(不通の場合は092-929-3980))にて送付ください。

記

日時	令和8年1月19日(月) 10時00分から(受付は9時30分から)
会場	九州国立博物館 1階研修室(太宰府市石坂4-7-2)
出席者	九州国立博物館長 富田 淳(とみた じゅん) 九州国立博物館 文化財課 主任研究員 松浦 晃佑(まつうら こうすけ) ※本展主担当
内容	主催者あいさつ、展覧会概要説明、質疑応答(12時に展示室閉室)



記者内覧会終了後、1階研修室にて当館レストラン「太宰府 いい乃じ」による特別展コラボレーションメニューのうち「ヒラメ漬け丼御膳」を試食いただけます。
試食をご希望の方は、別紙「取材連絡票」に○を付けてご提出してください。



記者発表会の様子を公開しています。
特別展の概要はこちらをご覧ください。

[左上]三勇像(部分・松浦静山) 内藤葉昌筆 佐藤一斎賀/画 江戸時代・天保10年(1839) 賀 江戸時代・天保11年(1840) [右上]松浦熙像(狩衣肖像)(部分) 井手利恭筆 松浦熙賀 江戸時代・天保4年(1833)

【本件に関するお問い合わせ】九州国立博物館 広報課 花谷(はなたに)

TEL:092-929-3272 FAX:092-929-3276 MAIL:kouhou@kyuhaku.jp

いざれも
長崎・松浦史料博物館所蔵